

議会だより

2026 夏 No.121

発行：初山別村議会

編集：議会報発行特別委員会

令和 8 年 8 月発行

議員定数を 8 人から 7 人へ 1 人減

議会改革特別委員会にて議論を重ねてきた議員定数については、6 月定例会において、初山別村議会の定数を定める条例の一部を改正する条例案が提出され、全会一致で原案のとおり可決されました。

なお、改正条例の施行は、公布の日から施行し、公布の日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用されることとなります。



6 月 定例会

6 月議会定例会は、6 月 18 日に開かれました。村長提出の議案は、監査委員の選任につき同意を求めることについてをはじめ、条例の改正、一般会計補正予算など 10 件で、いずれも審議の結果、原案どおり同意、可決・承認されました。

一般質問では、三谷議員が村政の執行について、村長の考えをたえました。また、議員から提出された意見書案 3 件を可決し、関係行政庁へ送付しました。

提出議案と審議結果

議案番号	案 件 名	結果
同意第 2 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
同意第 3 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
同意第 4 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
諮問第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任
議案第 24 号	初山別村過疎地域持続的発展市町村計画の変更について	可決
議案第 25 号	私有車の公務使用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
承認第 2 号	専決処分の承認を求めることについて 初山別村税条例の一部を改正する条例の制定について	承認
承認第 3 号	専決処分の承認を求めることについて 令和 7 年度一般会計補正予算（7 号）	承認
議案第 26 号	令和 8 年度一般会計補正予算（第 1 号）	可決
議案第 27 号	令和 8 年度簡易水道事業会計補正予算（第 1 号）	可決

委員の同意等

■監査委員

初山別村字初山別
荒木 隆氏

■固定資産評価審査委員会委員

初山別村字有明
江端 由佳里氏

■農業委員会委員

字共成

秋山 哲也氏(再任)

字有明

村田 寿宏氏(新任)

字明里

岩井 明彦氏(新任)

字明里

田澤己榮樹氏(再任)

字千代田

木村 正志氏(再任)

字有明

舟見 孝弘氏(再任)

字初山別

益田 則明氏(新任)

字明里

長坂 幸弥氏(新任)

字千代田

木村 茂氏(再任)

■人権擁護委員

初山別村字有明

酒井 美幸氏

(新任)

条例

■私有車の公務使用に関する条例の一部を改正する条例

↓職員の私有車の公務使用における利便性の向上を図るための改正。

Q 鎌田議員

出張時に2名で同乗して行く場合もあると思うが、搭乗者保険の確認は、

A 寺崎総務課長

搭乗者保険については、何かあったときには必要

なため、保険等の契約書で確認し対応します。

承認

■専決処分の承認について【初山別村税条例の一部改正】

↓地方税法の一部を改正する法律等の施行に伴う改正。

■専決処分の承認について【令和7年度初山別村一般会計補正予算(第7号)】

↓5,387万円を追加し、26億2,987万8千円に。

Q 高場議員

地域おこし協力隊事業費の起業支援補助金について、利用しなかった理由は、

A 佐藤企画振興室長

要綱では、任期を満了して1年以後は使えるもので、今、準備を進めている最中です。7年度は申請がなかった。

Q 高場議員

農林水産物直売所運営費の修繕料の内容は、

A 大西経済課長

全てが北極星のトイレ改修事業の修繕料。

その他

■初山別村過疎地域持続的発展市町村計画の変更について

↓水産業振興構造改善事業、村商工会運営事業の追加。

補正予算

■一般会計

↓2,449万8千円を追加し、24億6,829万8千円に。

【財産管理費】

Q 齊藤議員

旧豊岬へき地保育所屋根葺替工事について、老朽化が進んでいるが屋根の工事だけでいいのか。また、今後も物品保管に使うのか。

A 寺崎総務課長

物品保管のために必要。他の施設での保管等、様々な視点から検討した結果、躯体は活用可能であるため財政的な影響も考慮し屋根葺替をし活用する。

【農業振興費】

Q 高場議員

畑作物産地生産体制確立・強化緊急対策事業の内容は、

A 大西経済課長

村における畑作・主に甜菜について、国からの補助を受けて病原菌に強い品種の導入や生産性の向上と品質の向上を図る事業。

■簡易水道事業会計
簡易水道事業収益
↓219万7千円を減額し、1億5,974万7千円に。

■簡易水道事業費用
↓230万7千円を減額し、1億4,901万8千円に。

意見書案

■ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実強化を求める意見書

提出者 長谷川幸廣 議員
賛成者 鎌田 健治 議員
賛成者 三谷 博子 議員

■地方財政の充実・強化に関する意見書

提出者 加藤 一裕 議員
賛成者 長谷川幸廣 議員
賛成者 三谷 博子 議員

■教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書

提出者 高場志津子 議員
賛成者 齊藤 勝博 議員
賛成者 三谷 博子 議員



傍聴に来られた中学1年生

Q 特産品の開発及びPR等の運営を検討する場の設置を

A 子ども議会や各協議会などで
今後も継続し意見を賜りたい



三谷 博子 議員

ふるさと納税及び農水産物加工試験研究センターの活用について

議員

昨年のふるさと応援寄附額は99名の方から29万5千円が寄せられました。道内ふるさと納税ランキングに於いては最下位に近い位置ではありますが、高齢者生活福祉センター居住修繕やしよさまるやきの铸型購入など主要な分野に活用されています。

歯止めのかからない人口減、都市間バス、路線バスのたび重なる減便、相次ぐヒグマの出没等、村の現状を考えた時、ふるさと納税という仕組みを活用して納税額を増やし、

村の活性化や村民の暮らしを守る一助に出来ればと思います。納税額の増えない原因の一つである返礼品の改善をする為、農水産物加工試験研究センターの機能強化、継続性の為に専門職員を増やし後ろ盾にし、中学生を含む村民による特産品の開発及びPR等の運営についてを検討する場の設置を提案します。

又、寄附金の事業別を

現状の5事業から3事業程度に削減し寄附額を返礼品の開発と健康福祉の充実に関する事業に絞って、十分な資金を調達できるようにしてはどうか、村長に伺います。

村長

ふるさと納税につきましては、地域活性化を目的とし、平成20年から始まった制度であり、村においての現在の累計残高は、995万4,457円となっています。また、返礼品については、平成26年度から取り扱いを開始し、現在は、ハスカップ製品をはじめ29品目の返礼品を提供しており、より多くの寄附額を募るため取り組みを進めているところです。

その様な状況の中で、本年2月に開催された初山別村地方創生総合戦略会議や先日行われた初山別中学校2年生の総合的な学習の時間でのふるさと納税の授業においても返礼品の充実については、様々な意見も出されたところであります。

ふるさと納税については、一般財源の7割を地方交付税に頼っている本村にお

ては、貴重な財源であると考えておりますので、より多くの寄附金を募れるよう、今後においても庁内での横断的な検討会などの開催により返礼品の充実を図り、引き続き各種ポータルサイトなどを活用しPRを図ってまいりたいと考えているところであります。

さて、納税額の増えない原因の一つである返礼品の改善に対する1点目の「農林水産物加工試験研究センター」の機能強化と村民による特産品開発及びPR等を検討する場の設置についてですが、農林水産物加工試験研究センターにおける将来的な運営と施設機能については、職員配属も含め検討の必要があるものと考えております。将来的な特産品開発については、これまで行われてきた本施設での加工試験研究のほか、民間事業者が開発する特産品開発への支援を実施していきたいと考えております。

また、特産品開発及びPR等については、子ども議会や各関係施設の運営協議会などにおいて、中学生や住民の皆様からご意見を頂いているところで

あり、今後も継続しご意見を賜りたいと考えております。

2点目についてですが、現状の事業区分については、「食のブランド化等特産品開発に関する事業」「星のむらづくり推進に関する事業」「健康・福祉の充実に関する事業」「森林・水資源等環境保全に関する事業」「ふるさと文化伝承に関する事業」の5事業となっており、平成26年度の返礼品開始時に設定したものであります。

当初の設定から12年が経過し、時代の移り変わりにより取り組まなければならない振興方策も変化してきておりますので、真に必要な事業について改めて検討し、見直しを図ってまいりたいと考えます。

一問一答

議員

「しよさまるやき」を真空パックや冷凍等、改善をしてはどうか。

村長

「しよさまるやき」をふるさと納税の返礼品として考えることは認識している。状況をみながら考える。

議員研修会

7月2日、札幌市で北海道町村議会議員研修会が開催された。今回は「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」、関東学院大学法学部地域創生学科教授、牧瀬稔氏と「どうなる政治・経済」日本再生のために何が必要か、ジャーナリスト、須田慎一郎氏のご講演でした。牧瀬氏は、地方創生の振り返りとして、様々な視点からお話しされた。須田氏は経済通であり、バブル崩壊後の動きと、抱えるリスク、政治と表裏一体なので今後の国会の動きに注目しなければならぬとのことでした。

それぞれ90分のご講演は示唆に富み、実りのある研修となりました。



定期監査報告

令和7年度定期監査を6月22日から26日までの5日間実施。

監査委員 荒木 隆
監査委員 鎌田 健治

1 監査対象
令和7年度分に係る財務に関する事務及び一般事務

2 監査方法
各部署に求めた資料並びに係書類の閲覧および担当者からの説明を求めた。

3 監査結果報告
財務に関する事務及び必要と認める一般事務は良好に処理されており、事業の執行も適正と認める。

北海道町村議会議長会表彰



高場志津子議員が、永年にわたり地域の振興発展に寄与された功績に対し、北海道町村議会議長会から表彰され、木村議長から表彰状の伝達が行われました。

議会のうごき

5 月		9	留萌管内町村議会議長会臨時総会（議長・札幌市）
12	留萌管内町村議会議長会定期総会（議長・遠別町）	14	初山別村消防団春季消防演習（議長外議員全員）
14	北海道町村議会議長会理事会（議長・札幌市）	17	例月出納検査（監査委員）
15	例月出納検査（監査委員）	18	第2回定例会（議長外議員全員）
21	留萌地域総合開発期成会定期総会（議長・増毛町）	22	留萌地域総合開発期成会要望（議長・留萌市）
	北留萌消防組合議会臨時会（斉藤議員・羽幌町）	23	留萌地域総合開発期成会要望（議長・札幌市）
26	町村議会議長・副議長研修会（議長・東京都）	24・25	留萌地域総合開発期成会要望（議長・東京都）
6 月		7 月	
	議会運営委員会（委員長外委員全員及び議長）	2・3	全道議員研修会（議長外議員多数・札幌市）
5	議会全員協議会（議長外全議員）	14	例月出納検査（監査委員）
	議会改革特別委員会（委員長外委員全員）		議会報発行特別委員会（委員長外委員多数）
9	北海道町村議会議長会定期総会（議長・札幌市）	27	各会計決算審査、財政健全化判断比率等審査（監査委員・7月31日までの5日間）

編集後記

宴会やイベントの終了時に行われる事の多い、いわゆる手締め。「パパパン、パパパン、パパパン、パン」と10回手を叩く、これは一本締め。これを3回連続で行うのが三本締めだ。3拍を3回繰り返して「九」となり、最後に1拍を打つことで「九」に点が打たれ「丸」となり、物事が丸く収まるとの事。「よーおつ、パン」と1回だけ手を叩くのは一丁締め。前者の略式で、周囲への騒音にも配慮した、この一丁締めが今では広く用いられているようだ。

（文責・斉藤勝博）

議会報発行
特別委員会

委員長 齊藤 勝博
副委員長 三谷 博子
委員 高場志津子
委員 加藤 一裕